令和2年11月24日

医療介護関係者・一般住民の皆様

**8万人のリハビリ難民を防ぐ署名活動のお願い**

リハビリ難民を防ぐ有志一同

現在、令和3年度の介護保険制度の見直しに向けて、厚生労働省で検討されている「訪問看護ステーションの看護職員6割以上、療法士4割以下の人員配置規制」により、全国で訪問看護ステーションからの理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の訪問サービスが受けられなくなる**リハビリ難民が約８万人**、人員削減が必要な療法士が約5千人、生じると推計されています（日本理学療法士協会調べ）。



　つきましては、医師・看護師・ケアマネジャー等の医療・介護関係者、一般住民の意見を集約し、国会議員や厚生労働大臣に届けたいと思います。是非ともオンラインでの署名に、ご協力をよろしくお願い申し上げます。締め切りは、第一次が11月30日、第二次が12月6日です。

なお、賛同頂ける方への情報の拡散もよろしくお願い申し上げます。

オンライン署名は下記のURL、もしくはQRコードで

 https://questant.jp/q/shomei